

おすすめ 資材

初倉 営農経済センターが
おすすめします！



セルトレイやポット栽培専用培土
『与作』

◎規格 15kg

N-100

2,211円(税込)

N-150

新果菜類専用培土

2,343円(税込)

◎特徴

「与作」シリーズは、パーミキュライトやピートモス等の軽量で土壤改良効果の高い素材を主原料とし、育苗に必要な肥料成分を添加した育苗用培土です。種類も多く、作物や育苗期間などに合わせて培土が選べます。

トレイからの抜き取りが容易で、発芽率もよく、保水性が良好です。

◎使用方法・適応作物

・Nシリーズ(セル成型育苗用)

葉菜類や花卉などのセル成型育苗に適する、細粒で軽量のセル成型育苗用培土です。

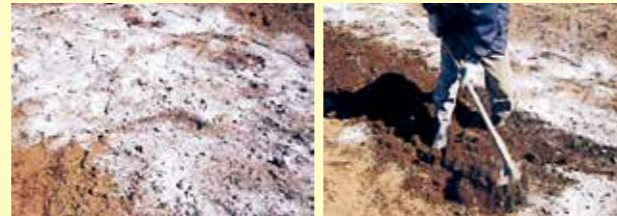
・専用培土シリーズ(作物別園芸用培土)

イチゴや、ネギ類等作物別に適する専用培土です。

詳しい使い方や使用量は、
最寄りの営農経済センターへ

畑の手入れ方法

①冬に空いている畑の手入れをするため、石灰をまく



③畑の表面は小山にしておく



⑤畑をならす



⑥元肥の化成肥料と油粕をまく



⑦土の中に混ぜ込む



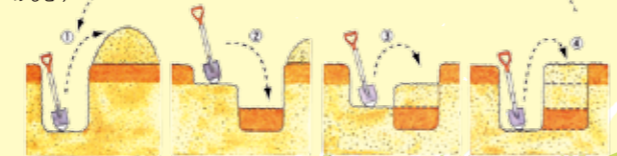
⑧畝を作り、種まきの準備をする



天地返しやりかた

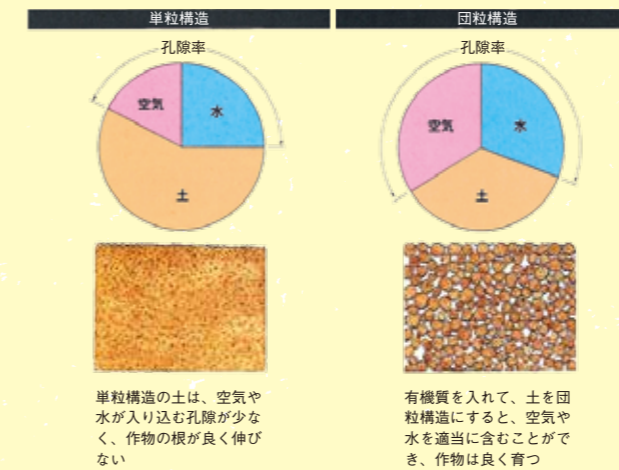
連作障害でできが悪くなった畑は天地返しで若返ります。深さ1mに穴を掘り、3回に分けて埋め戻しましょう。

最初に掘り上げた土を、埋めもどす



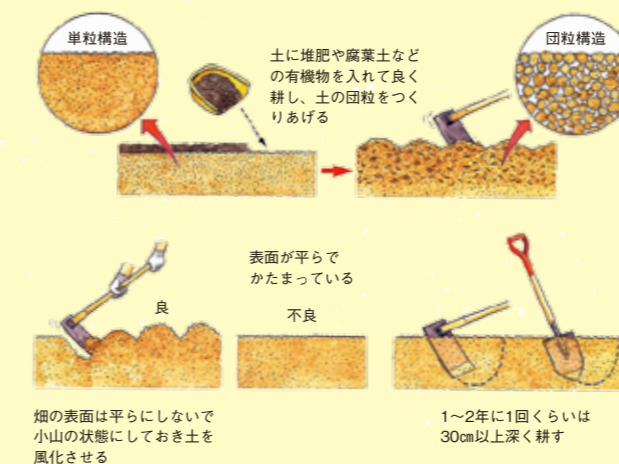
良い土の条件

良い土を作るには、まず排水や通気、保水性の改良を図ることが大切です。土の粒子には大小があり、粘土や砂などの割合が畑によって異なります。土の性質は変えられませんが、それぞれの粒子が固まり、団粒構造になれば粒と粒の隙間に空気が入るので、単粒構造の土よりも排水が良く酸素も豊富で、保水力も高い土になります。



団粒構造を保つ土づくり

多くの野菜は、他の作物に比べて根が弱く、酸素要求量が多いです。体の大部分が水分であり、乾燥にも弱いので、団粒構造にすることによって、良く育つようになります。団粒化のためには、堆肥や有機質素材を十分に施す必要があります。冬の間によく耕し、寒気にさらして風化させることも、排水や酸素補給、病害虫対策の手段として有効です。



おいがわ 今月の作物
はたけ日和



土づくり

野菜は、土の中に根を伸ばして自分の体を支え、茎や葉、花や果実に栄養を送り込んでいます。大きく育つためには、その根が土の中の養分や水分を吸収できるようになっていることが大切です。

- 良い土の条件は、
- ①水はけと通気が良い
 - ②水もちが良い
 - ③土の酸度が適正
 - ④肥料分が豊富
 - ⑤病原菌や害虫が少ないことです。



初倉 営農経済センター
山中 爽平

